

2026年9月期（第26期）

第3四半期決算
および会社説明資料

2026年8月10日 証券コード：3939

株式会社 カナミックネットワーク

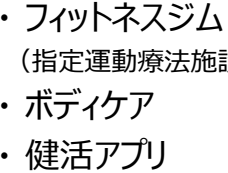
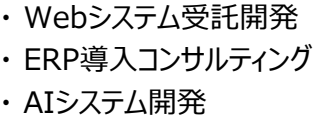
1. グループの強みと業績概要



KANAMIC NETWORK

1-1.カナミックグループの事業構成（3本柱）

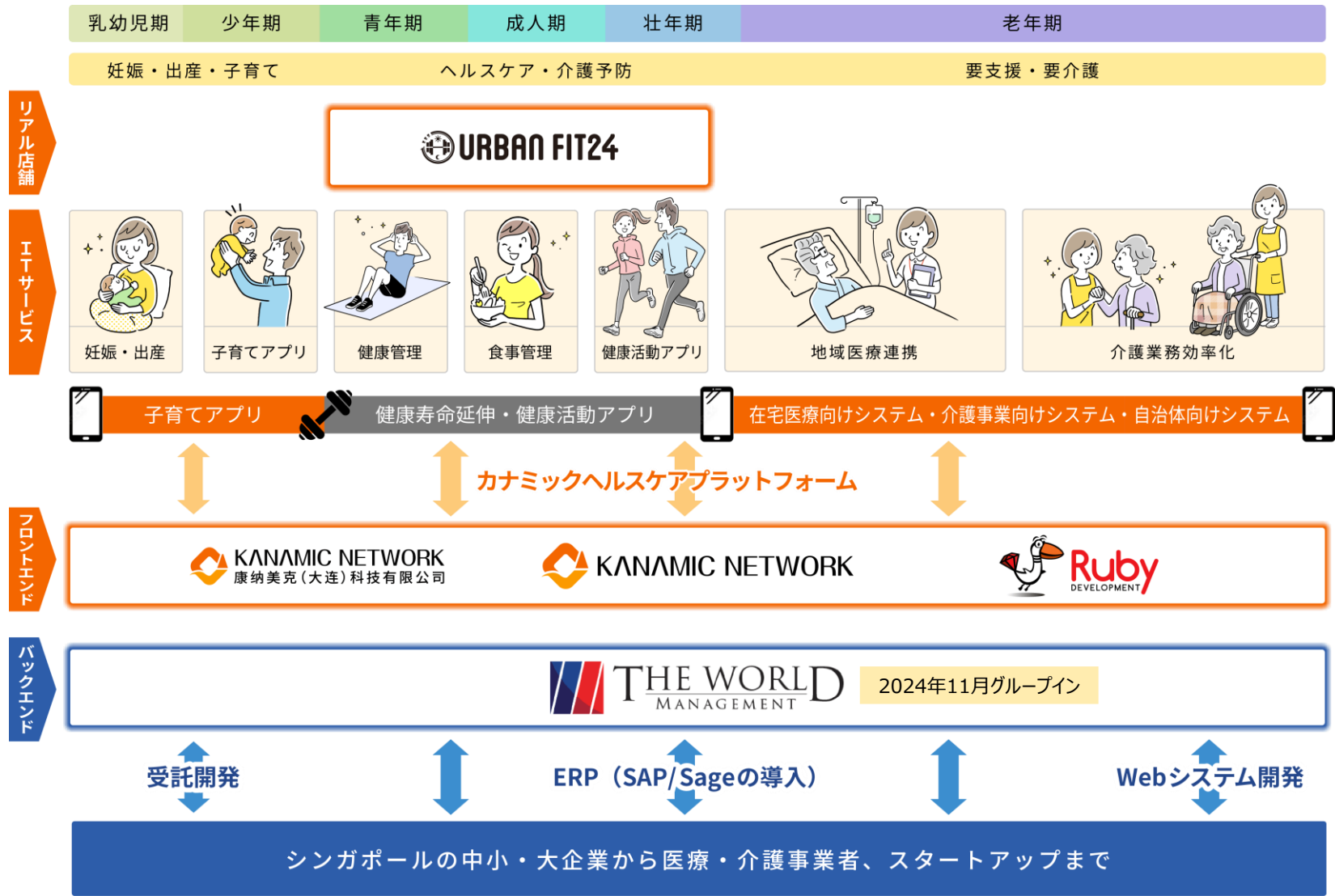
カナミックグループは日本の課題に対するソリューション（課題解決）サービスを事業の3本柱にしています

日本の課題 	①	②	③
	超高齢社会 (少子高齢化)	健康寿命延伸 (人生100年時代)	スタートアップ支援 DX支援・海外展開 (新産業の創出)
	カナミックグループ 		
	提供サービス 		
カスタマー属性 	toG toB - 自治体 - 医師会 - 医療法人 - 介護事業者	toC 一般顧客	toB - 大企業 - メガベンチャー企業 - ユニコーン企業 - スタートアップ企業

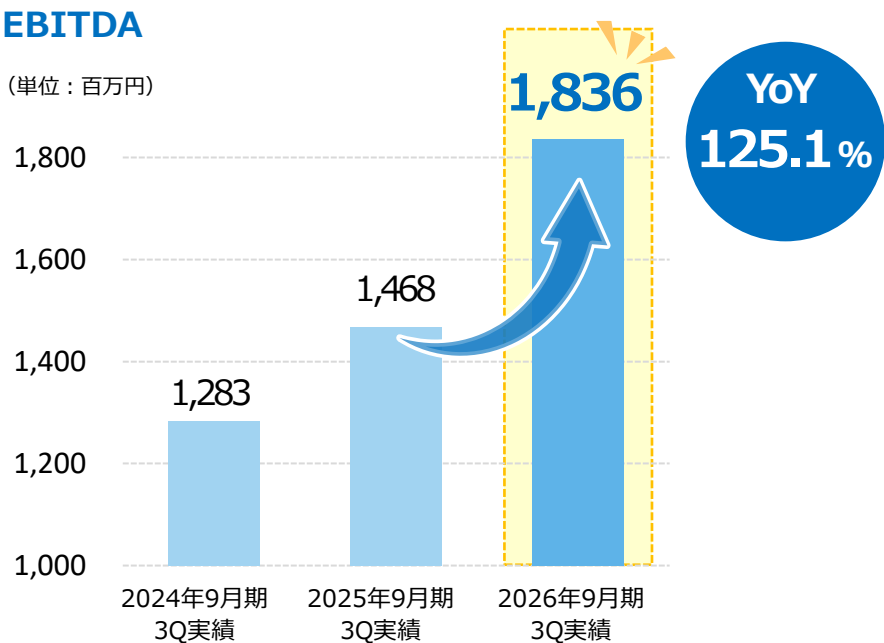
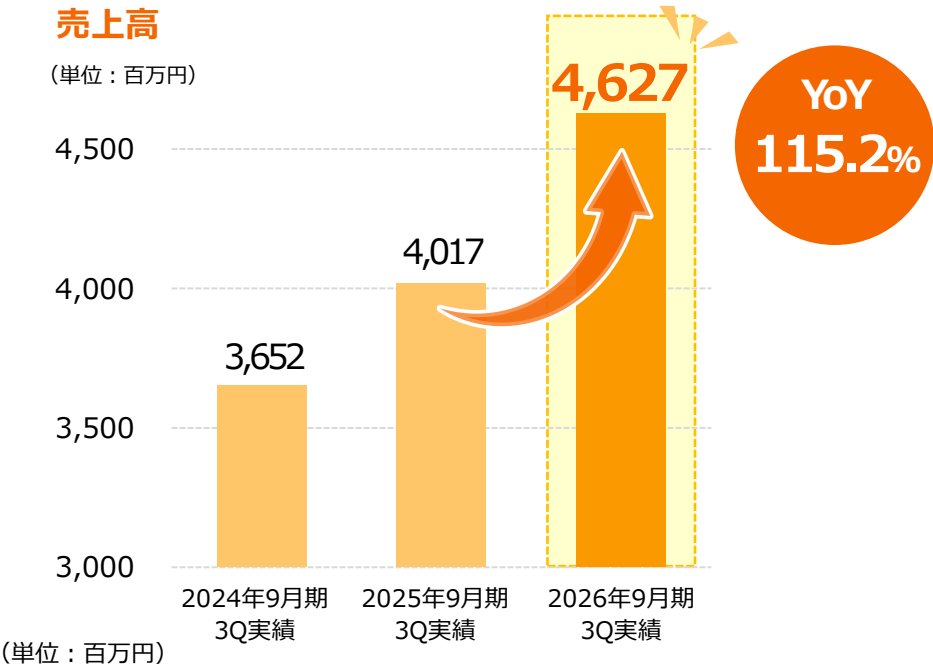
1-2.グループ企業の事業構成と事業シナジー

■「人生を抱きしめるクラウド」で人と社会に貢献する

医療・介護・健康分野に特化したヘルスケアプラットフォームを構築し、世界中の人々の健康で豊かな生活を支えます。
生まれてから亡くなるまでの人生を支えるヘルスケア（リアル店舗）からヘルステック（ITサービス）まで提供します。



前年同期比売上高115.2%、EBITDA125.1%の増収・増益を達成

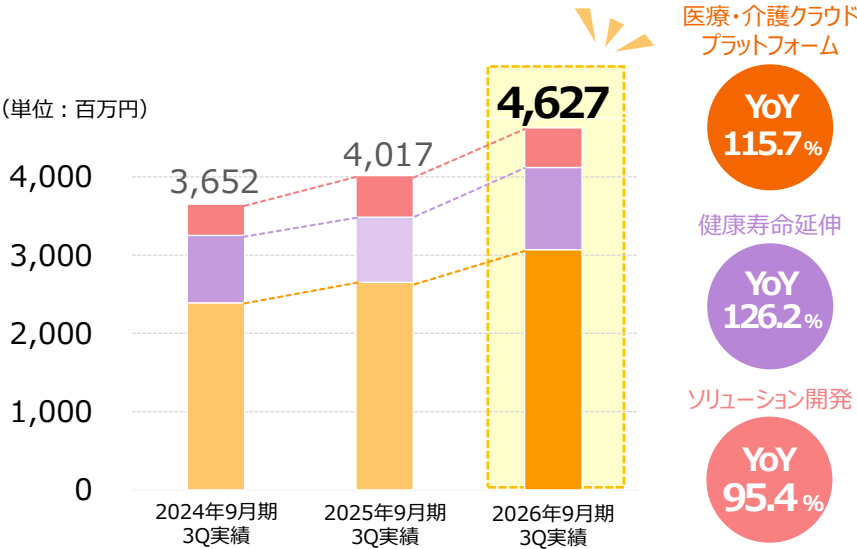


	2024年9月期3Q	2025年9月期3Q	2026年9月期3Q		差 異
	実績	実績	実績	構成比 (%)	前年比 (%)
売 上 高	3,652	4,017	4,627	100.0%	115.2%
EBITDA	1,283	1,468	1,836	39.7%	125.1%
営 業 利 益	1,020	1,162	1,504	32.5%	129.5%
経 常 利 益	1,026	1,162	1,519	32.8%	130.7%
当期純利益	699	797	1,016	22.0%	127.5%
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	14.74	16.80	21.42		

※EBITDAは営業利益に償却費（減価償却費およびのれん償却費）を加算した額となります。

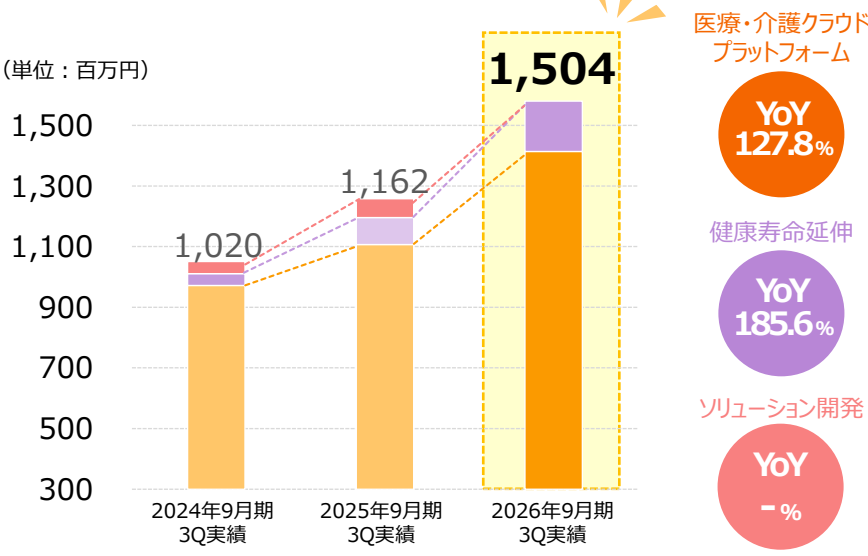
1-4.2026年9月期 第3四半期 セグメント情報

■売上高



(単位：百万円)

■セグメント利益（数値は連結営業利益額）

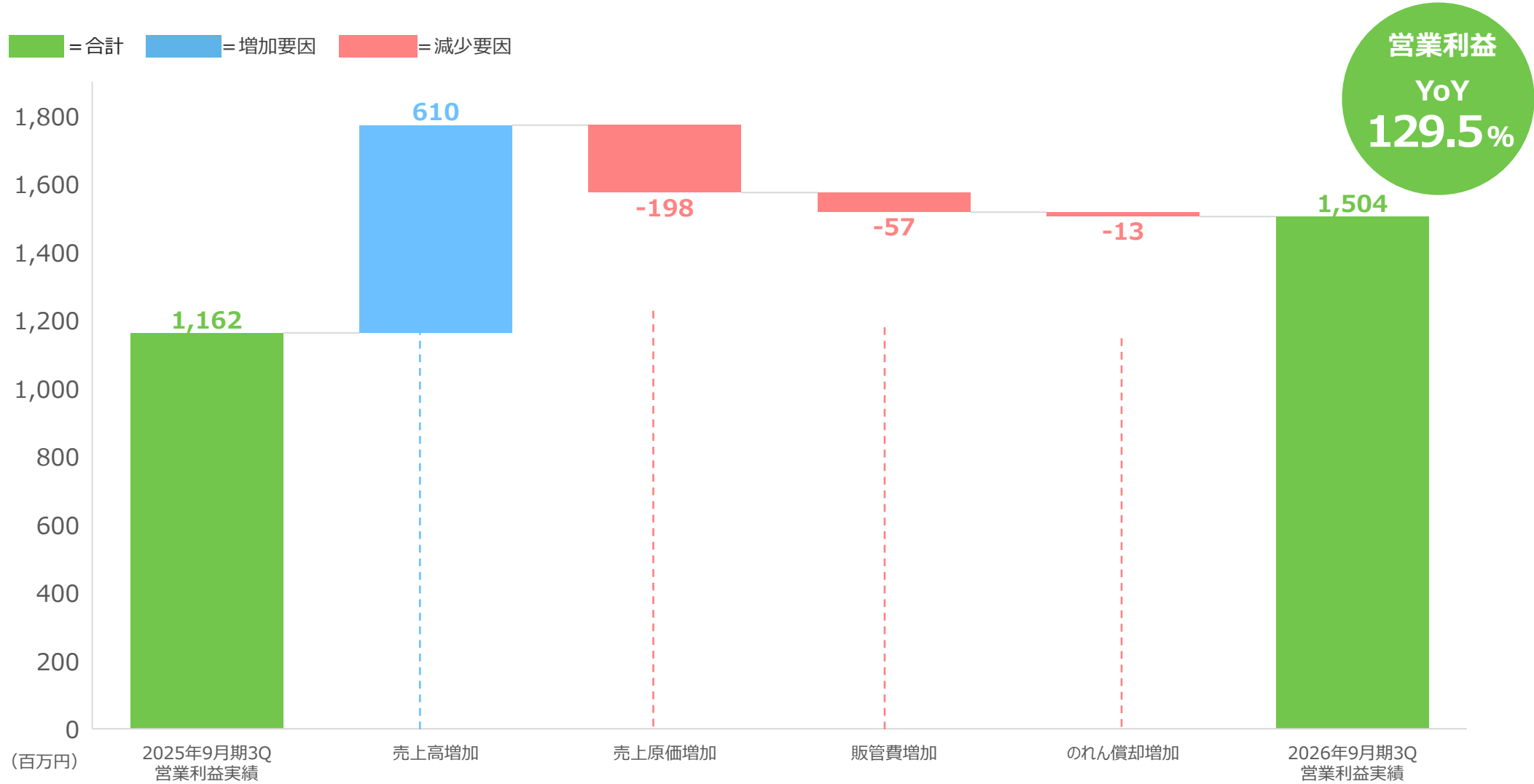


セグメント		売上高とセグメント利益	2024年9月期3Q実績	2025年9月期3Q実績	2026年9月期3Q実績	対前年差異（％）
 KANAMIC NETWORK  KANAMIC NETWORK 康纳美克（大连）科技有限公司	医療・介護クラウド プラットフォーム	売上高	2,390	2,653	3,070	115.7
		セグメント利益	972	1,107	1,414	127.8
 URBAN FIT24	健康寿命延伸	売上高	862	832	1,050	126.2
		セグメント利益	39	89	166	185.6
 Ruby DEVELOPMENT  THE WORLD MANAGEMENT	ソリューション開発	売上高	399	531	506	95.4
		セグメント利益	40	62	-2	-
合計（※）		連結売上高	3,652	4,017	4,627	115.2
		連結営業利益	1,020	1,162	1,504	129.5

※連結営業利益は、各セグメント利益の合計からセグメント間取引、のれんの償却額を差し引いた調整後の利益額となります。
※ソリューション開発セグメントの損益は、会計処理上、コストが先行する一方で、売上が期ズレしたためである。

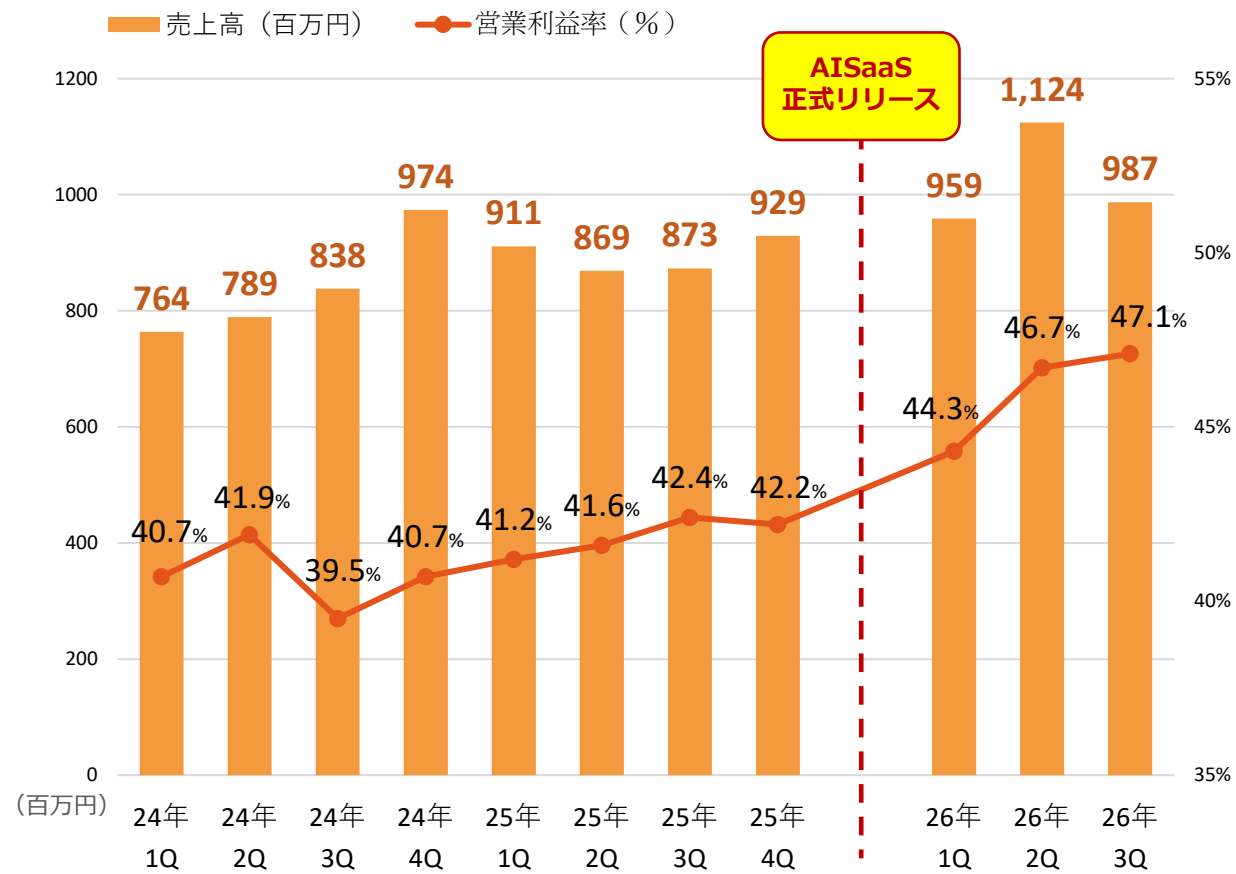
1-5. 営業利益増減要因

オーガニック成長及びM&Aによる売上増と利益率改善による利益成長



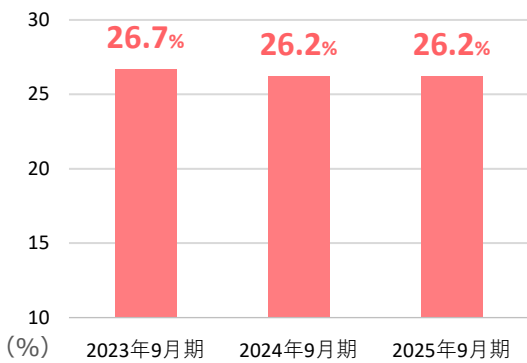
1-6.医療・介護クラウドの業績推移と資本効率指標推移

医療・介護クラウドプラットフォーム 四半期業績推移

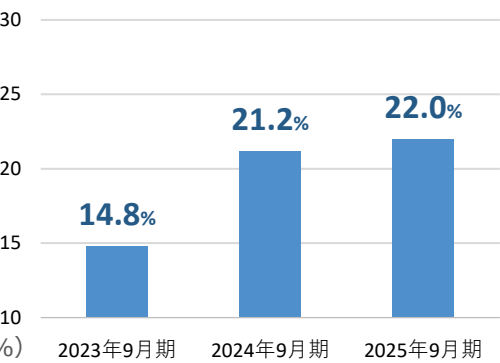


資本効率指標の推移

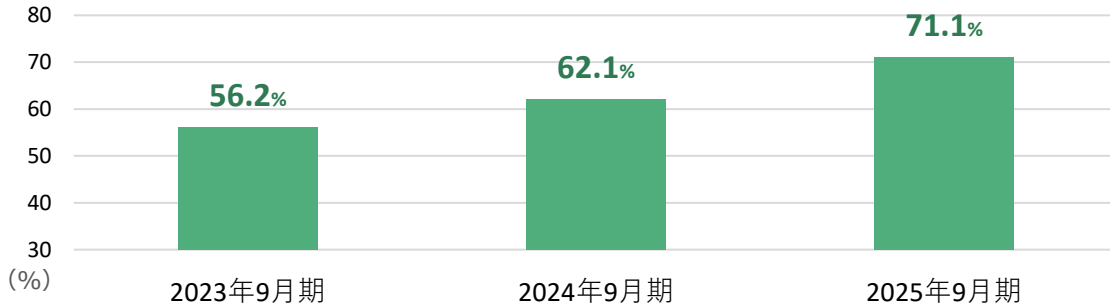
ROEの推移(3期)



ROICの推移(3期)



自己資本比率の推移(3期)

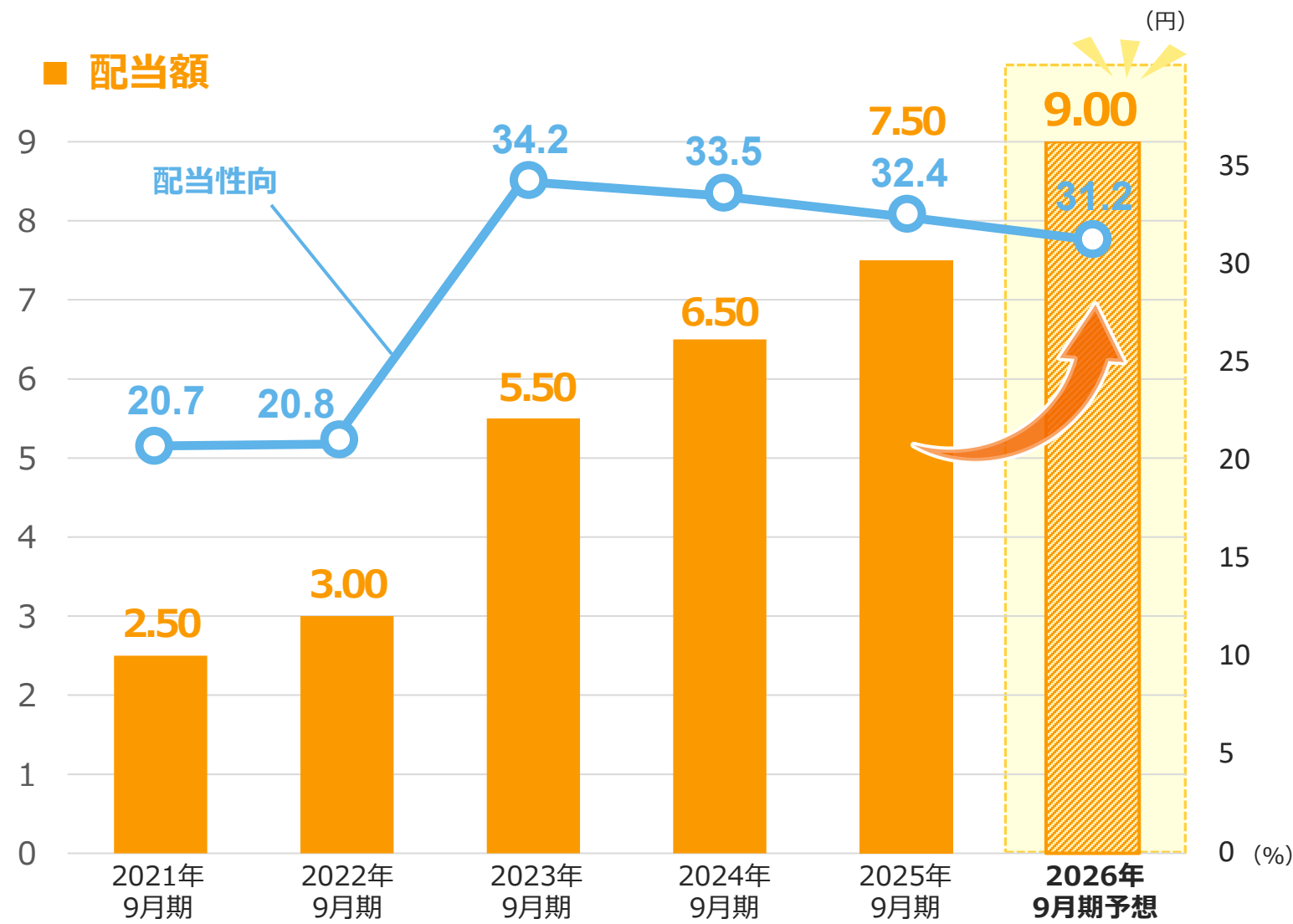


医療・介護クラウドプラットフォーム事業は、ストック型のクラウド収益を基盤に着実に成長を続け、AISaaS正式リリース後、営業利益率改善が加速、直近第3四半期では47.1%に到達しました。ROEは3期連続26%超、ROICは22.0%へ改善、自己資本比率は71.1%へ上昇。「成長 × 高収益 × 高資本効率 × 財務健全性」を同時に実現しています。

※各期決算短信より作成。売上高は医療・介護クラウドPF事業の単四半期値、営業利益率＝セグメント利益÷売上高（いずれも短信ベース）。ROE・ROIC・自己資本比率は各期決算短信等資料に基づく。

1-7.株主還元

30%以上の配当性向方針により、毎期の成長と共に増配を繰り返しております



1-8.株主還元

抽選式優待券およびアーバンフィット24の優待体験券を 株主様全員に贈呈しています

従来行っていた抽選式の優待制度（下記記載のJCBギフトカードの贈呈）に加えて株主様全員へのアーバンフィット施設利用の体験チケットの贈呈を開始いたしました。

条件を満たす株主様から抽選でJCBカードを贈呈

優待
①

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された100株以上を
保有の株主様

抽選で**10名様**に**20万円**相当のJCBギフトカード贈呈

優待
②

直近の期末株主名簿から100株以上を1年以上継続して保有
（期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続3回以上記載）の株主様

抽選で**3名様**に**20万円**相当のJCBギフトカード贈呈

抽選につきましては、定時株主総会終了後に実施する抽選会において、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行立会いのもと、厳正な抽選を行います。また、抽選の結果は当選された株主様の株主番号等を当社ホームページにてお知らせいたします。贈呈時期は、毎年1月中旬頃の発送を予定しております。



アーバンフィット24優待券を 株主様全員に贈呈

100株以上：優待券1枚
(7,040円（税込）相当)



施設体験チケット（1枚）
※レンタルタオル、レンタルウェア、レンタルシューズ付き
※全国のアーバンフィットで1枚につき2名様（同伴者1名様可）までご利用いただけます。

2026年9月期

配当および株主優待
総合利回り（想定）

約**16.0%**

（配当利回り1.81% +
UF優待チケット利回り14.2%）

（※7/31終値496円で計算）

※株主番号は全株を売却された後に新たに購入された場合は、新しい株主番号に変わりますのでご注意ください。※当期は2026年9月30日時点の株主名簿に記録または記載され、100株以上保有の株主様より実施いたします。なお抽選方式優待②は、2025年9月30日、2026年3月31日 及び2026年9月30日の全ての基準日における株主名簿に同一株主番号で記録または記載された株主様が対象となります。

2. 事業TOPICS



KANAMIC NETWORK

カナミックの介護AIクラウドサービスが ASPIC「生成AI利用クラウドサービス情報開示認定制度」第一号認定を取得

当社は、一般社団法人日本クラウド産業協会(ASPIC)が2026年7月に運用を開始した「生成AI利用クラウドサービス(ASP・SaaS)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」において、第一号認定を取得しましたので、お知らせいたします。

認定の概要

認定番号 : 生成AI 0001-2607
認定サービス名 : カナミッククラウドサービス
認定日 : 2026年7月31日
認定機関 : 一般社団法人日本クラウド産業協会(ASPIC)

認定取得の背景と意義

国内外で1,000を超える生成AIクラウドサービスが提供される中、「どのサービスが本当に安全なのか」という利用者の不安が高まっています。本制度は、客観的な第三者機関による情報開示認定を通じて、利用者が安心・安全に生成AIクラウドサービスを選択・利用できる環境の整備を目的としています。

当社は、医療・介護・子育て分野において生成AIを活用したクラウドサービスの提供を進めており、このたび本制度の第一号認定を取得しました。当社は今後も、安全・信頼性に係る情報開示を徹底し、利用者が安心して利用できる生成AIクラウドサービスの提供に努めてまいります。

2026年7月9日発表

カナミックネットワークが「看護DXアワード2026」にて「訪問看護部門賞」を受賞！ ～看護現場の未来を切り拓くデジタル改革が評価～



当社が提供する『カナミッククラウドサービス』は、モダンホスピタルショウ・ナースまつり内の「看護DXアワード2026」（主催：一般社団法人日本男性看護師会ほか）にて、その卓越した成果と現場への寄与が評価され、「訪問看護部門賞」を受賞いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

「看護DXアワード」とは

「看護DXアワード」は、一般社団法人日本男性看護師会が主催する、看護師が主体となって推進するデジタルトランスフォーメーション（DX）の優れた事例やサービスを表彰・共有し、看護現場におけるDX推進を加速させるために創設されたアワードです。

医療DXや病院DXが経営・効率化の視点に偏りがちな現状に対し、本アワードでは真に「看護師の働き方改革、業務効率化、患者ケアの質向上」に貢献する“現場ファースト”の取り組みに光を当てています。本年は、看護記録・看護教育・看護マネジメント・訪問看護・患者支援の5分野において、革新的なデジタル技術やサービスが総合的に審査されました。

カナミックAISaaSの新機能をリリース！ “居宅介護支援経過を考えながら入力する負担”を軽減～ 「AI音声入力による支援経過記録作成支援」機能リリース！

この機能でできること

1 記録作成の即時化

その場で音声入力→AI要約により、**リアルタイム**で記録が完成します。



2 転記作業の削減

紙メモや録音データからの書き起こしが不要になり、**二度手間**を解消します。



3 抜けもれ・記録精度の向上

会話内容をもとにAIが整理するため、記録の**漏れや記載ミス**を防ぎます。



4 現場負担の軽減

訪問先や移動中でも記録が完結し、業務全体の**効率化**につながります。



当社は、居宅介護支援事業者向けに、ケアマネジャーが事業所のパソコン・スマホ等に向かって発話するだけで居宅介護支援経過記録の素案を作成できる「AI音声入力による支援経過記録作成支援」機能をリリースしました。

機能概要・特長

本機能は、事業所のパソコンのマイク、またはスマートフォンに向かって発話するだけで、AIが発話内容を自動的に整理し、支援経過記録の素案として要約・整形する機能です。考えながら長文を入力する負担を軽減することで、利用者やご家族との対話時間の確保、より質の高いケアマネジメントの実践を支援します。

期待される効果

- ・事業所での支援経過記録作成業務の大幅な効率化（入力時間の短縮、残業負担の軽減）
- ・記録内容の均一化・品質向上、記載漏れや記録の遅延の防止
- ・利用者との面談・対話に向き合う時間の確保、ケアマネジメント本来業務への注力

2026年5月25日発表

カナミックネットワーク、シンガポールの高齢者ケア事業者とのMOU締結を発表 AIを活用したケアソリューションを共同開発



当社は、シンガポールの現地高齢者ケア事業者と提携し、AIを活用したケアソリューションの共同開発に向けたパイロット事業を開始するMOUを締結いたしましたので、お知らせいたします。

本事業は、日星両首相によって共同声明された「日本・シンガポール戦略的パートナーシップ」に基づく取り組みです。日本国内で高齢者ケアのデジタルトランスフォーメーション（DX/AI）を推進する当社が、シンガポールの主要な介護事業者であるKwong Wai Shiu Hospital（以下「KWSH社」）およびLions Befrienders（以下「LB社」）と連携し、専門的な業務ソフトウェアソリューションの共同開発に着手します。この国境を越えたパートナーシップにより、当社が日本で培ったAIを活用した介護業務ソリューションをシンガポールの介護現場に導入し、現場スタッフが患者ケアにより注力できる環境の構築を目指します。

本説明において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。